

(案)

北環審収第 1 号
平成29年 1月 日

北本市長 現王園 孝昭 様

北本市環境審議会
会長 堂本 泰章

北本市環境基本計画「年次報告書」(平成28年度版)について(答申)

平成28年9月29日付け〔北市環発第2061号〕で諮問のあった標記のことについて、本審議会で慎重に審議した結果、別添「年次報告書」のとおり答申します。
なお、今後の環境施策の推進にあたっては、下記の事項について十分配慮されることを要望します。

記

昨年5月に開催された伊勢志摩サミットや環境大臣会合では、地球温暖化対策及び環境保全施策について議論が行われた。また、12月には世界の生態系保全について話し合う生物多様性条約第13回締約国会議(COP13)がメキシコ・カンクンで開かれ、2020年までの生態系保全の世界共通目標「愛知目標」の取組状況の評価が行われたほか、農林水産業や観光業で生物多様性に配慮した取組が求められた。

こうした国際会議における議論を踏まえつつ、北本市でも環境基本計画が策定されてから約15年間の環境施策の検証を基に、持続可能な社会の実現に向けた取組を一層進めていかなければならない。また、第二次北本市環境基本計画の発行に際しては、改めて行政の環境施策に対する積極的なリーダーシップが求められるものと考え、次のとおり提言する。

- 1 近年の雑木林の減少を阻む新たな政策を立案すること
- 2 第二次北本市環境基本計画における年次報告書の作成にあたっては、構成や手法について十分に検討すること
- 3 環境行政を統括する専任の人員を配置し、環境行政の一層の推進を図ること